

日根野スタンダード

つきたい力 自分の考えを豊かに表現できる力 ・ 目的に応じて説明できる力

導入

めあての共有化

◇先生と児童でねらいを共有化し、学習の見通しをもたせましょう。



展開

自分の考えを書く活動の習慣化

◇授業で子どもにしっかり**考えさせましょう**。

◇考えたことを文章で書かせましょう**(書きタイム)**

◇考えたことを言葉で伝えさせましょう **(伝えタイム)**



まとめ

ふり返る活動

◇児童が自己の学びを実感できる時間を確保しましょう。

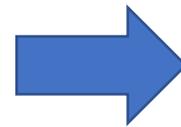
◇ふり返りから、実態の把握、授業改善のヒントを見つけましょう。

ポイント 学びを実感できる「めあて」「ふり返し」

「**やってみたい!**」から「**できた!**」へ ～1時間の中で、単元の中で自己の学びを実感させよう～

<めあて>の書き方

- ・1時間の学習のねらいと見通しを持つ。
- ・「やってみたい!」の意欲を引き出す。



<ふり返し>の書き方

- ・めあてを達成したか自分で見直せる。
- ・「できた!」の気持ちを次の授業の意欲に。

<呼びかけ型>

「～しよう」

例・立場を明確にして討論をしよう

- ・2つの直線の交わり方を調べよう

<可能型>

「～することができる」

例・くり下がりが2回あるひき算の筆算ができる

- ・主語と述語を見つけることができるようになる

●～がわかった／わからなかった。

●～ができた／できなかった。

●工夫したこと

●がんばったこと

●つぎにしてみたいこと

「わからなかった!」「できなかった!」
という気づきも大切なこと。

ポイント 学びを実感できる「めあて」「ふり返し」

「やってみたい！」から「できた！」へ ～1時間の中で、単元の中で自己の学びを実感させよう～

日づけ	めあて	マーク	ふりかえり
	おはなしの木の かきかたをしろう。 よみきかせをきいて、おはなしの木をはなしあいながらかこう。	◎	おはなしの木の かきかたでかくことができました。
	よみきかせをきいて、おはなしの木をじぶんでかこう。★ (書)	○	おはなしの木をはやくつくってみたいとおもいました。きのうよりもはなしができたとおもいます。
	よみきかせをきいて、おはなしの木をじぶんでかこう。★ (書)	△	よみきかせをきいて、おはなしの木をはなしあいながらかこう。
	よみきかせをきいて、おはなしの木をじぶんでかこう。★ (書)	◎	よみきかせをきいて、おはなしの木をはなしあいながらかこう。

② 各時間のめあてを設定

③ 1時間ごとのふりかえり

① 単元のめあてを設定

めあて
おはなしの木をつくって、二ねんせいにおきにいりのむかしばなしをしようかいいしよう。

むかしばなしがいつぱい

【ふりかえりのかきかた】
○...がわかった(わからなかった)
○...ができた。(できなかった)
○...がんばった。

/	/	/	/	/	/	/	/	/	日づけ
									めあて
									マーク
-	-	-	-	-	-	-	-	-	ふりかえり

めあて

◎○○△

- 【ふりかえりの書き方】**
- …がわかった。(わからなかった)
 - …ができた。(できなかった)
 - …したい。
 - …と思った。

単元名

--

名前 ()

)